

こいのぼり



1学期 大変お世話になりました

本日で1学期が終了しました。保護者の皆様、大変お世話になりました。そして、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。

本日の終業式では、子どもたちに次のような話をしました。

少し前に、地域の方が赤堀南小のみんなをほめてくださいました。校長先生は、とてもうれしかったので紹介します。

1つめは、朝のあいさつがよくなるということです。

地域の方から「赤堀南小の子どもたちは、『おはようございます』のあいさつがよくなりますね。」とほめてくださいました。また、時々、門のところで緑のジャンパーを着て『あいさつ運動』をしてくださる方々からも「大きな声であいさつができますね。」とほめてくださいました。

2つめは、みんなが礼儀正しくお礼が言えるということです。

これは、ある日の下校時刻のことです。学校の近くに住んでいる方が、家の駐車場に車を止めようとしたそうです。すると、そこに赤堀南小の子ども数名、下校で歩いてきたそうです。その方は、駐車するのを止めて、子どもたちが通りすぎるのを待っていました。すると、その子どもたちが、振り返って「ありがとうございました」と頭を下げてお礼を言ったそうです。その方は、礼儀正しくお礼があったことで、とってもうれしくなったそうです。その後、その方が学校に電話をかけてきて、このことを教えてくれました。「感激しました」ともおっしゃって、みんなのことを大変ほめてくださいました。この中のだれかの行動を大変ほめてくださいました。

みなさんはこの話を聞いて、どう思いますか。みんないい気持ちですね。

今の話に出てきた子どもも、この話を聞いたみんなも、ここに居る先生も、みんないい気持ちです。ここに出てきた子どものおうちの方は、娘や息子のことを誇らしく思うことでしょう。

みんなのよい行動が多くの人を幸せな気持ちにします。みんなは、人を幸せにできるすごい力をもっています。

1学期のはじめに『いいこといっぱいやってみよう』と伝えましたが、今の話もそれにあてはまります。自分が正しいと思うことやよく考えて自分のためになることは『いいこと』です。よく考えて誰かのためになることや、お互いが幸せになることも『いいこと』です。夏休みも、みんなができる『いいこといっぱいやってみよう』を、たくさん行って過ごしてほしいと思います。

以上のような内容です。

1学期も様々な学校生活を経て、子どもたちは賢く・優しく・たくましく成長しています。これからも学校教育目標の下、目指す子ども像の育成に向けて、よりよい教育活動を行っていかうと思います。

1学期を振り返りますと、様々なことがありました。大勢の保護者の方に参観いただいた「学習参観」、体育館へ全児童が避難した「避難訓練」、5年生の行事「1泊2日の臨海学校」など、これまで控えていた行事や活動が少しずつ行えるようになりました。



活動が増えた分、子供たちの笑顔も増えました。ただし、引き続き、感染症や熱中症などには注意が必要です。

ご家庭におかれましては、毎日の健康観察をはじめ、食事や睡眠等、子どもたちの心身の健康の維持にご協力いただきありがとうございます。楽しい学校づくりにおいて保護者の方々のご理解とご協力が欠かせませんので、夏休み中も2学期も引き続きよろしく申し上げます。

認知能力と非認知能力

幼児期から児童生徒まで、どの発達段階でも非認知能力を高めることに関心が高まっています。

この能力を大まかに説明すると、『認知能力』は、IQや偏差値、学校のテストなどの数値化できる能力のことです。それに対して、『非認知能力』は、テストでは測定できない個人の特性による能力のことです。具体的には、『意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、創造性、コミュニケーション能力』などの測定できない能力のことです。

そして、この『非認知能力』は、集団の行動での困難や失敗、挫折などの経験を通して養われるものが多いと言われています。

本校においても、認知能力と非認知能力をバランスよく身に付けられるようにすることが大切であると考えます。子どもたちは、一人一人が自らの学習や生活に対して目標をもち、その達成に向けて仲間と協力して努力しています。教師は、一人一人のよさを『ほめて・認めて・励まして』支援しています。子どもたちは、小さな成功体験を積み重ねて、達成感を味わい自信を増して、また努力しています。つまずいたり壁にぶつかったりするのは、高みを目指して努力しているからです。そういうときこそ、仲間や家族、教師の支えがあって乗り越えていき、その過程で多くのことを学び、たくましくなっていきます。

夏休みは、子どもたちにとって、さらなる成長のチャンスです。規則正しい学習習慣・生活習慣の中で『認知能力』を伸ばしていきましょう。また、家庭や地域を中心とした、学校とは異なる集団のなかで、『非認知能力』を高めていきましょう。

人は努力することや継続することが苦手です。子どもたちは、夏休み中、特に保護者の方々のあたたかい見守りや声かけが必要です。ご家庭で、子どもたちの頑張りが続くように支えてください。よろしく願いいたします。

夏休みだからこそできる経験を

充実した夏休みを過ごせるように、公民館や地域の活動に参加するのもよい取り組みです。6月末に配布済みの「夏休みこども向け講座」などで公民館の活動に参加してみるのもよいと思います。地域行事に参加してみるのもよいと思います。ぜひ、夏休みだからこそできる経験を計画してみてください。



【あいさつ・整理整頓】は、 家庭でも地域でも

夏休み中も引き続き、子どもたちが『あいさつ・整理整頓』をできるよう、この取り組みの促進にご協力ください。

【あいさつ】 おうちの人や友達、先生、知っている大人に元気にあいさつできる。

【整理整頓】 自分の持ち物を大切にし、整理・整頓ができ、身の回りを整えることができる。

